

授業計画（シラバス）

教育内容	専門分野 小児看護学				
科目名	小児看護学方法論Ⅱ	対象学年	2年生		
単位（時間数）	1単位（30時間）	講義時間	28時間	試験時間	2時間
講師名	基幹教員	実務経験	臨床看護師		
学習目標	1) 健康障害が子どもの成長・発達に及ぼす影響と特徴について理解し、子どもと家族の発達を促す看護について考えることができる 2) 小児看護に特徴的な技術について理解する 3) 健康障害をもつ子どもと家族がそのらしく社会の中で生活できるよう、子どもと家族を支える家族について考えることができる				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1	在宅療養中の子どもと家族の看護 在宅療養の環境と看護の役割 環境は変化していく ＊医療的ケア児支援法 障がいのある子どもと家族の看護 成長発達を支える看護 社会的支援・チームアプローチ	講義	系統看護学講座「小児臨床看護総論」 (医学書院)
2	外来における子どもと家族の看護 緊急度の把握 受信時の子どもと家族の緊張と不安の軽減 健康診査・育児相談・予防接種法 麻疹などの感染症への対応・学校保健法 ＊子どもは感染しながら免疫力をつけていく 災害時の子どもと家族の看護 避難時の環境・災害時の子どもの反応、心のケア 子どものアセスメント① バイタルサイン・機嫌・活気 乳幼児の意識レベル	講義 演習	
3～5	急性期にある子どもと家族の看護 気管支喘息の子どもと家族の看護（幼児期・乳児期） 子どものアセスメント② 水分出納・脱水のアセスメント 栄養のアセスメント 症状を示す子どもの看護	講義 演習	

授業計画（シラバス）

	発熱時の看護 呼吸困難時の看護		
6～10	<p>アセスメントに必要な技術 子どものバイタルサイン測定・計測 コミュニケーション</p> <p>検査や処置を受ける子どもの看護 説明と同意・子どもの権利・ プレパレーション（心理的準備） ディストラクション</p> <p>発達段階別の与薬・輸液管理・吸入・吸引 採血・診察介助・穿刺</p> <p>*持続点滴中の日常生活の援助を考えてみよう *病院での安全（事故防止）な環境を考えてみよう</p>	講義 演習	
11～13	<p>慢性期にある子どもと家族の看護 ネフローゼ症候群・急性腎炎の子どもと家族の看護 （幼児期・学童期）</p> <p>子どものアセスメント 症状を示す子どもの看護 アセスメントに必要な技術 検査や処置を受ける子どもの看護（安静・内服など） 小児慢性特定疾患治療研究事業 長期的に治療を必要とする子どもの発達と セルフケア 学校との連携</p>	グループワーク	系統看護学講座「小児看護学各論」（医学書院）
14	<p>終末期の子どもと家族の看護 小児がん 痛みのある子どもの看護 子どもの死の概念 子どもの死をみとる家族への関わりとケア</p>	講義	
教科書	系統看護学講座「小児臨床看護総論」「小児看護学各論」（医学書院）		
参考図書			
評価方法	終講試験		